

県関係文献紹介

- 田中眞吾編著 六甲山の地理 B6. 297p.

前号で紹介したように1988年7月神戸新聞総合出版センターから阪神大水害50周年事業出版として発売された。執筆者は神戸大学田中眞吾博士を始め20名。昆虫については筆者が担当(p.129-134)。加藤昌宏氏の野鳥。仲谷淳氏のイノシシの話などが入っている。一般書店で販売(1,000円)。(本書は1988年7月25日全国学校図書館協議会選定図書に選ばれています)

- ひめじの昆虫 I

姫路市都市緑化課内 (社)ひめじ花と緑の協会発行 76p.

カラーで今回は主としてチョウ、トンボが紹介され観察地案内とか採集のしかたなどもある。発行年月日が良くわからないが1987年3月31日と最後にある。執筆者は相坂耕作・家永善文・木村三郎氏ほか7名。第II集はセミ・甲虫を収録の予定とか。1973年出版された“自然への招待”(姫路青年会叢所社会開発委員会発行)とスタイルが良く似ている。仲々たのしい文献である。

- 西村 登著 ヒゲナガカワトビケラ

日本の昆虫9 四六判144p. (1987年8月刊)

(文一総合出版刊, ¥1,300)

西村博士による主として兵庫県円山川を中心に長年にわたり観察、研究をされたヒゲナガカワトビケラについての単行本で著者自身この虫に関しての世界で最もくわしい本だと述べられているように貴重な文献である。兵庫県に関する虫の文献と言うばかりでなく、一般に知られていない虫の秘密を解き明して貰える有難い書でもある。

- 西村 登著 夕ぐれの飛行

エムシ亭閑人雑文集

(ふだん記グループ刊、119p.)

(1988年4月刊)。

本書は昆虫関係の文献では無いとも言えるかもしれないが西村博士の“ヒゲナガカワトビケラ”に関する文もあるので昆虫関係の文献ともいえる。兵庫県PTA新聞などに寄稿された随想などをまとめられている。兎に角どれも軽妙洒脱楽に読める大変うれしい。やはり教育者の作品だと感心させられる。

以上2書は西村博士より御恵与を受けました。ここに御礼を申し上げさせていただきます。

さらに登日邦明氏から同氏主宰の“Awajiensis, 01”及び“Nature Kids, 02”の2冊を御送

り頂いている。前者は昆虫以外の淡路島の自然を記録、後者は一般向けの自然保護の啓蒙誌で直接昆虫に関するものではないが興味のある方は登日氏迄連絡して下さい（〒656-21, 津名郡大町畑235）

県内学会誌・同好会誌・連絡誌（1988・Ⅳ～1988・Ⅸ）

姫昆サロンニュース（姫路昆虫同好会連絡誌）

No.81（1988・Ⅳ）、No.82（1988・Ⅴ）

IRATSUME（但馬むしの会々誌）

No.12（1988・Ⅳ）

兵庫陸水生物（兵庫陸水生物研究会）

No.30,30（A）（1988・Ⅳ）

伊丹の自然（伊丹市立博物館）

第6号（1988・Ⅵ）

混虫ずかん（但馬むしの会連絡誌）

No.19（Ⅵ・1988）No.20（Ⅸ・1988）

PARNASSIUS（淡路昆虫研究会々誌）

No.34（Ⅸ・1988）

INSECT（淡路昆虫研究会連絡誌）

No.35（Ⅸ・1988）